

発行日/2016年8月16日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info



26

みみよい

【あしき】

難聴事業担当 芦田 今日子

真夏の日差しがきらきらと照りつける日が続いています。街で突然、何の音かわからず耳がツーンとふさがれたような感じがしたので、「補聴器の故障か」、「ついに聞こえなくなったのか」と怖い思いをしていると、蝉の大合唱が原因でした。蝉の声・川の音・雨の音いろんな音によって暑さを感じたり、涼しんだり。そんな風流を楽しめないので、視覚による楽しみには目を光らせています。

視覚で楽しむひとつとして、テレビの字幕が増えてきました。最近目につくのは、「生字幕をお知らせしています。誤字などがありますのでご了承ください」というお知らせ。もしこれが音声なら「生放送のため、聞こえたり聞こえなくなったりしますが、ご了承ください」と同じで、こんなお知らせをすると放送事故ですね。センターでは、字幕のないテレビの映像に、工夫を凝らした字幕をつける作業をしています。貸し出しもしていますのでご興味のある方はぜひご覧ください。

難聴者のための「コミュニケーション教室

前期は新規の方が7名、去年からの継続の方が1名でスタートしました。最後は5人となってしまいました。ほとんどの方があまり手話をご存知ない状態でのスタートだったので、同じ立場で仲良

くしい雰囲気でした♪

残った聴力でおしゃべりができる方も多く、始まる前や休憩時間ではおしゃべりに花が咲くことも。コミュニケーション教室は「なまかまづくり」も一つの柱にしている。聞こえない講師にはみんなが話す内容がわからなくても、たくさん笑顔を見るととても微笑ましくなりました♪ただし、勉強のときはちゃんと顔の筋肉や手をたくさん使ってもらえないので、「忘れてしまいそうなので、今年も表現だけではなく「読み取る」こ



とも大事に勉強を進めていきました。後期もこの調子でたくさんの方との会話ができるように、頑張っていきます。今期も「アブラユウ」の手話で写真を撮りました。後期は会話コースで 2015・2016 年度（前期）の受講生を優先させていただきますが、手話で自己紹介・挨拶などのコミュニケーションがとれる方は申し込み可能です。興味がある方はぜひお問合せください。

「ろく」あるある テレビの字幕編

リオオリンピックの中でも、盛り上がりを見せている卓球。男子は今期「絶対的エース」がいるから、なおさら興味深い。

生中継でもアナウンサーの話す内容が字幕で出るようになったのは嬉しいが、字幕の位置が画面のど真ん中になることが多く、肝心のプレーが見れず。それに、卓球は展開が早いので字幕も追いつかず、かなりズレる。情報源にもなる字幕が邪魔になるが、字幕をオフにしようと、何だか寂しくなる。しばらくするとうまく画面下に移してくれて、まあ見やすくなった。リアルタイムには欠けるものの、選手の情報やプレーに関する解説は見ていても楽しい。もし手話通訳となったら、カタカナが多いので指文字ばかりになるだろうなと想像。でもゆくゆくは字幕も誤字の少ないリアルタイムになり、手話通訳も見られる時代となりますように。

「みみサロン」を開催しました！



耳の聞こえない人も、身体を動かすことが大好きな方が多く、プラザのプールやジムを利用されている方も実は（意外と？）多いそう。今回も当センターのエアロビクスでおなじみの日向（ひゅうが）さんに来ていただきました。

参加者は14名。エアロビクスは音楽のリズムに乗って踊るので、運動量は多めです。講師が初心者向けに用意してくださったプログラム、「できるだけすぐに止まらないように」という約束を守りながら踊りました。

炎天下の7月でしたが、嬉しいことにプラザの体育室ではエアコンが効いています。この季節にしてはちよつと快適だったので、「休憩はいいから踊ろうよ」と元氣な参加者もいるぐらいでした。

今回は盲ろうの参加者も1名来てくださいました。手引き（ガイド）さんも頑張って合図を出して

くださいましたが、リズムが早くてついていけないかったので、足踏みをしながら体を動かしていました。参加者の中でも一番若い？担当が一番バテてしまったのはここだけの話です（笑）。



手と手を合わせて踊ったり、みんなでストレッチをしたりと交流も楽しめました。また今後も定期的にエアロビクスや手話ヨガも企画しますので、興味ある方はぜひご一緒しましょう。

「もじサロン」を開催しました

昨年12月、「文字で情報を得ながら交流できる場を作ろう！」と企画した「もじサロン」。今年度から定期的に開催することとなりました。第1回は「俳句をつくってみよう」。6月25日（土）、講師に「悠遊倶楽部（ゆうゆうくらぶ）俳句であそぼ！」の西川豪一（ごういち）講師をお招きして、俳句づくりを楽しみました。前半は俳句に関する講義、後半は初めての俳句づくりに挑戦しました。

俳句のお題は「梅雨」の季語を入れること。でも、ひねるのに

一生懸命になり過ぎて季語重ねになってしまいうことも。みなさん、ひねっては「さんまは？」「メロンは？」「ハーブは？」「紫陽花は？」と季語を質問。講師はそのたびに歳時記を片手に答えてくださいました。

参加者で選んだ俳句をご紹介します。



・雨あがり つゆ草光る 風そよぐ
・梅雨晴れや

ふとんふんわり 気も晴れて

・あれこれと ネット検索 梅雨籠もり

その他の作品は、2階の情報コーナーに掲示しています。ご覧くださいね。

次回のもじサロンは12月に開催予定です。何をするのか：お楽しみに！

今年もみんなで楽しみました

「夏休み企画」は、今年も親子ヨガ教室を皮切りに、親子クッキング、工作教室と続きます。

親子ヨガ教室は、今年もあかり先生に来ていただきました。

お友達とふれあいながら体のバランスを整えていきます。また、ゆみ先生も楽しい体操をたくさん用意してくださいました。

聞こえない子どもたちは、動きながらバランスを取るのがちよつと苦手。でも、先生の手を借りたり、何度も経験する中で少しずつ上手になっていきました。子どもの力、さすがですね！ ボランティアの学生さんもありがとございました。



手話言語条例が目指すもの

全国的に盛り上がっている手話言語条例ですが、堺市では市担当課の思いもあり、情報コミュニケーション条例として準備が進んでいます。3月末まで、市・ろう協・サ連などの関係者間の話し合いだけでなく、難聴・盲ろう・視覚障害・知的障害の関係者との話し合い、ヒアリングが進んでいました。

その後、市担当課の大幅な人事異動のため4か月近く手続きが止まっていたのですが、ようやく7月、8月に関係者との最終調整が完了ということ、最終案が市から出されました。ところが今度は、ろう協が要望していた手話言語条例のイメージからはかなり離れてしまい、手話関係者は皆意気消沈、これではいけないとろう協・サ連の方々が修正の要望をまとめ、市に掛け合ったところ、市は早速修正に応じてくださいました。

「条文の文言よりも、これから実施される施策の方が大切」とよく言われますが、今回のことで関係団体の方々と市との信頼関係ができたことは、施策を考えていく上での土台となるので、よりうれしいことです。情報提供施設もその輪の中でできるだけのことをしていきたいと思っています。

親子クッキングではフルーツゼリーとお絵かきパンケーキに挑戦。ちよつと難しかったけど、頑張って仕上げました。フルーツゼリーの真ん中に置いたサイダーにラムネを入れると「しゅわしゅわしゅわっ」。ちよつとびつくりの体験でした。ゼリーのヨーヨー釣りも、楽しく競いました。お母さんやきょうだいたちと一緒にワイワイ・ガヤガヤ。もちろん、みんな手話でおしゃべり。みんなで一生懸命作ったおやつ、おいしかったね！



UDトーク(音声認識アプリ)を導入しました！

7月から、音声認識アプリ「UDトーク」を導入しています。現段階では、今後の事業にどのように活かしていくのか、センターでいろいろと試行錯誤を重ねている段階ですが、今後、こうしたアプリや機器を活用して、聞こえない・聞こえにくい方々が社会参加する際の不便を少しでも解消できればと思っています。

もちろん、機械は人のような細やかな配慮はできません。手話ができる人、筆談をしてくれる人を増やす。これに勝る手段とはなりません。手話通訳者や要約筆記者を養成・育成し、派遣範囲を拡大していく努力は、今後も変わらず続けていきます。ただ、機械にも良い面はあります。

例えば、難聴の方が「早口やはっきりしない話し方だとわかりにくい」とおっしゃることがあります。けれど、普段どんな話し方をしているのかを自覚することはなかなか難しいです。音声認識ソフトを通すと、「はっきり話せていない」、「あー、えー、などが多い」といった話し癖がよくわかります。難聴の方が働く職場の方に使っただけ、「なるほど、こんなふうに話すと聞き取りやすいんですね」と言っただいたこともありません。本来の使い方とはちょっと違うのですが、せっかく導入した機器、場面に合わせて活用していきたいと思っています。

「どんなことができるのかな」、「自分のスマホにダウンロードできるの？」など、お試しやご相談にも応じています。興味のある方はセンターまで。

事前にご連絡ください。FAX：072-243-2222 メール：mimi@sakai-kfp.info



手話奉仕員・通訳者養成講座

交流を大切に

先日始まったばかりと思っていた講座も、あっという間に3分の1ほどが終わり、現在夏休み中です。休みの間もろう者との交流を大いに楽しんでいただき、休み明けは元気に学んでいただきたいと思います。講師の方々は夏休み返上で研修にいそしんでおられます。夏バテなんてふっとばそう。

要約筆記者養成講座

チームワーク固く！

パソコンの実技が要約筆記の本格的な内容になってきます。チームを組んでの練習に入ると、新しい面白さと、チームに対する責任を感じるようになります。その分、一緒に学ぶ人たちと一段と仲良くなる時期ですね。ファイト！

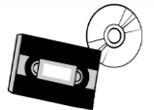
センターの行事

- 8月20日(土) 14:00~16:00
「保護者学習会」 ※要申込
- 8月24日(水) 14:00~16:00
「工作教室」 ※児対象・要申込
- 8月27日(土) 10:30~11:30
「絵本の読み聞かせ」
- 8月27日(土) 14:00~16:30
「聞こえの相談会」 ※要申込
コミュニケーションの紹介・体験会
- 9月9日(金) 13:30~16:30
「補聴器相談」 ※予約制
9月はキャンセル待ち
次回は10月14日(金)
- 9月17日(土) 14:00~16:00
「みみサロン」 ※要申込

毎週木曜日 12:30~12:45

ミニ手話講習会「手話っぴい」

おすすめビデオライブラリー



「五目ごはん ～私たちの生きる道～」

「ユニバーシティライフ ～ろう・難聴学生の素顔～ (2006)」に出演している5人の卒業生の現在(仕事、結婚、育児など)を追ったドキュメンタリーです。

「ハートネットTV 絆を取り戻したい

～被災地のろう学校・創立100周年～」

・創立100周年を迎える宮城県立聴覚支援学校。東日本大震災によって同窓会名簿は失われ多くの卒業生と連絡が取れない状態となっていました。

創立記念式典をきっかけに、失われた絆を取り戻したいと願う卒業生たち。多くの卒業生に式典に参加してもらうため奮闘する同窓会会長の渡邊征二さんを追っています。

雨降っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済

- 手話通訳者実技研修(CD) 6/25・(AB) 7/30
- 登録者合同研修 7/9 「医学概論」
- 要約筆記者研修 7/22 「事例検討」
- 登録者合同研修 7/23 「盲ろう者について」
- 手話通訳者実技研修(CD) 6/25・(AB) 7/30
- 手話通訳者研修 8/10 「利用者宅への派遣」
- 要約筆記者実技研修 PC 9/10 「全体投影」

お知らせ

ホームページ掲載の「みみより」の写真をカラーにしました。行事の雰囲気をより詳しくお伝えできれば…と思います。

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
6月	派遣数	272件	10件	20件	6件	28人	56本
	派遣人数	294人	21人	39人	24人	新規登録者：2人	
7月	派遣数	257件	21件	15件	4件	14人	47本
	派遣人数	273人	58人	29人	14人	新規登録者：3人	

ご協力
ありがとうございました

